



Photo / Kota Sugawara

音楽をとことん追求 同世代にも届けたい

井上 銘(ジャズギタリスト)

Inoue May

PROFILE 1991年、神奈川県生まれ。幼少期からピアノ、ドラムなどに親しみ、15歳でギターを始める。高校在学中に鈴木勲氏のグループに参加し、プロのギタリストとして活動をスタート。2011年、メジャーデビューアルバム、2013年セカンドアルバムをリリース。アメリカ留学を経て、日本を拠点にソロやバンドで精力的にライブ活動を行っている。

<http://ameblo.jp/may-inoue/>

高校でジャズに出会って、それぞれの時代の最高のミュージシャンを一気に^{たど}辿った。1950年代まで、ある意味並列で聴いてきた。その上で追求するのは、ジャズの最も自由な表現。「時代に囚われないのが僕ら世代の特徴。『井上銘と言えばこの音だ』となるような、そこに人生をかけていきたい」。

プロデビュー後、奨学生としてパークリーに留学。NYのライブハウスで刺激

を受けた。「日本人が居酒屋に行く感覚でライブに来るお客さんがいて、トッププレイヤーが攻める演奏をしている。音楽家が育つ街だと感じた」。日本は50代以上のお客さんが多く、若い世代の関心は多様化している。「同世代の人たちに、ミュージシャンが真心を込めてつくった作品を聴いてほしい」。ソロやバンド活動を重ね、今まさに成長期。リアルに響く音楽を模索し続けている。